

やちまた

第3号

文化財ボランティア通信

—平成21年9月—

平成20年8月に創刊してから早くも1年が経過しましたが、その後、第2号(11月)の発行にとどまり、いつになれば第3号を出せるのか、もしや、このまま廃刊になってしまうのではという不安感に迫られながらも、やっと第3号を出すことができました。

八街市教育委員会が推進する文化財保護・活用・継承のための市民・行政協働事業の一環として、文化財ボランティアの最近の活動状況や文化財情報などをお知らせします。また、本号には、市無形民俗文化財保持団体の榎戸獅子舞保存会と文違麦つき踊り保存会が、長年にわたる伝統文化の継承活動により表彰されたことなどを掲載しています。

郷土資料館企画展「時間の記憶と絆～発掘された八街の歴史～」

八街市郷土資料館では、10月14日(水)から12月6日(日)まで、企画展「時間の記憶と絆～発掘された八街の歴史～」を開催します。八街には明治時代以降の歴史しかないとお思いの方が多くかと思いますが、市内では、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中・近世、近代の遺跡や遺物が発見されています。そこで、これまでに市内から出土した考古資料を中心に展示・解説し、八街にも、文献には残されていない開墾以前の古い歴史があることを広く多くの皆様に知っていただき、郷土への愛着を深めるためのきっかけとなれば幸いです。

また、お子さまにも楽しんでいただけるよう、土偶づくりなどの体験コーナーもご用意しますので、この機会にぜひご来館ください。



文化財ボランティア講座

八街市教育委員会では、市民の大切な財産である文化財を良好な状態でまもり、活用し、将来にわたって継承することは、市民と行政とが協働で行うことで、より効果的に進めることができるため、市内で活動する文化財ボランティアを支援する事業を展開しています。

この一環として、本市の郷土史や文化財に対する興味や関心を深め、文化財ボランティア活動のきっかけづくりとするため、平成17年度から毎年文化財ボランティア講座を開設しています。

昨年度は、11月から12月にかけて全4回の日程で講座を開設し、14名の皆様に受講いただきました。

本年度は、下記のとおり5日間の日程で市中央公民館を主会場に講座を開設します。文化財や歴史、まちづくりに興味や関心をお持ちの方の受講をお待ちしております。くわしくは、市のホームページか、市役所、郷土資料館、中央公民館、図書館、スポーツプラザに設置してある募集要項をご覧ください。



平成21年度 文化財ボランティア講座の日程等

- 1日目 10/17 (土) 9:30～12:40 「文化財ボランティアって何？」
「八街の歴史を知ろう！① (旧石器時代～中世)」
- 2日目 10/24 (土) 9:30～15:05 「発掘調査でわかった八街のむかし」
「郷土資料館ってどんなところ？」
「郷土資料館を見学しよう」
- 3日目 11/14 (土) 9:00～16:10 「市内の文化財について学ぼう！① (指定文化財)」
「市内の文化財について学ぼう！② (各種文化財)」
「市内文化財めぐり」
- 4日目 11/21 (土) 9:00～15:40 「八街の歴史を知ろう！② (近世～近代)」
「文化財ボランティアガイド活動見学 (佐倉市)」
- 5日目 11/28 (土) 9:00～12:30 「文化財ボランティア活動とまちづくり」
「文化財ボランティアの登録と活動について」

※ 申込受付：平成21年9月1日～30日 社会教育課または郷土資料館 (Tel.443-1726) へ

文化財ボランティアの近況

(平成21年度の登録者数は31名)

不思議の会 (会員数8名：男性8名)

平成20年9月から21年2月まで、不思議の会と市教育委員会との協働事業として、市内に所在する巨樹・巨木を把握するための樹木調査(基礎調査)を実施しました。この調査は、過去の調査データを基に、不思議の会の皆様の全面的な協力を得て、9月、10月、11月、12月、2月の5回に分けて行い、概ね市内全域の主な樹木の調査を終えることができました。各所有者の皆様には調査にご協力いただき、この場をお借りして深く感謝申し上げます。



現在は、調査データのとりまとめ作業を実施しており、今後、特に貴重な樹木の抽出や公表の方法などを検討していく予定です。

八街文化財同好会 (会員数14名：男性9名・女性5名)

昨年度までは会員数12名で活動してきましたが、本年度、新たな会員を迎え、総勢14名となりました。前号でもお知らせしましたが、現在、市郷土資料館の収蔵資料整備作業を継続して実施いただいています。

平成20年度中の主な活動は、鉄製農耕具の大まかな清掃、錆落としなどで、現在は、収蔵庫内の資料を清掃しながら整理する作業をしていただいています。

これまで、収蔵庫内には、各種農耕具や生活什器等が雑然と置かれ、長年のホコリが積もったままの状態となっていました。同好会の皆さんは、1点ずつ丁寧に清掃し、種類ごとに分類・整理しながら収蔵棚に効率よく収納する作業を地道に続けています。



同好会の皆さんには、長期にわたってご苦勞をお掛けするばかりです。

個人登録者の活動 (登録者数9名)

これまでは9名が個人登録しておりましたが、引き続き、本年度も9名の皆様に個人として登録いただいています。

登録者の一人である石川 孝さんは、造園家としての知識や技術を普及・還元するため、毎月、地元の希望ヶ丘でガーデニング教室を開催しています。8月23日(日)は、NACS-Jの自然観察指導員としての知識を活かし、“夏の里山を歩こう”と題して根古谷・岡田・用草に所在する文化財などの名所と里山を散策するツアーのガイドをされました。参加者は、谷津田の里の文化財のみならず、草木や生物の説明に聞き入っていました。



用草の水路で確認した“カワニナ”と“サワガニ”（左から）

文化財ボランティア懇談会

平成20年11月30日(日)、文化財ボランティア懇談会を開催したところ、13名のボランティアに参加いただきました。

この懇談会は、文化財ボランティアの皆様が、団体・個人の枠を越えて、お互いに情報交換しあえる場を設けることに主眼をおいたものですが、当日は、本年3月に刊行しました『八街の文化財―やちまた歴史散歩―』に「ふれあいバスでいく文化財探訪」を掲載するため、バスのコースごとに文化財めぐりのルートを設定することなどを検討していただきました。皆様には、限られた時間の中、真剣に話し合い、様々な貴重な意見を出していただきました。

おかげさまで、『八街の文化財―やちまた歴史散歩―』を市民・行政の協働事業として無事に刊行することができました。この場をお借りして御礼申し上げます。



●第2号以後の文化財ボランティア活動一覧

【平成20年度】

- 平成20年11月 8日 郷土資料館収蔵資料整備作業④〔八街文化財同好会 8名、職員 1名〕
- 11月24日 市内樹木調査③〔不思議の会 5名、職員 1名〕
- 11月30日 文化財ボランティア懇談会〔不思議の会 2名、八街文化財同好会 7名、個人登録者 4名、職員 2名〕
- 12月13日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑤〔八街文化財同好会 6名、体験参加者 5名、職員 1名〕
- 12月21日 市内樹木調査④〔不思議の会 6名、職員 1名〕
- 平成21年 1月10日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑥〔八街文化財同好会 9名、職員 2名〕

- 2月14日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑦〔八街文化財同好会8名、職員2名〕
- 2月22日 市内樹木調査⑤〔不思議の会4名、職員1名〕
- 3月14日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑧〔八街文化財同好会11名、職員1名〕

【平成21年度】

- 平成21年4月11日 郷土資料館収蔵資料整備作業①〔八街文化財同好会11名、職員2名〕
- 4月26日 市内樹木調査とりまとめ作業〔不思議の会6名、職員2名〕
- 5月9日 郷土資料館収蔵資料整備作業②〔八街文化財同好会10名、個人登録者1名、職員1名〕
- 6月13日 郷土資料館収蔵資料整備作業③〔八街文化財同好会9名、個人登録者1名、職員2名〕
- 7月11日 郷土資料館収蔵資料整備作業④〔八街文化財同好会9名、個人登録者1名、職員2名〕

八街文化財同好会 “ふれあいバスで行く文化財探索”

八街文化財同好会の皆さんは、会独自の活動として文化財探索を実施し、文化財の学習のみならず、ふれあいバスの利用促進にも貢献いただいています。

平成20年9月に実施した文化財探索の行程をご紹介しますので、興味のある方はぜひ参考にしてみてはいかがでしょうか。

文違・朝日地区文化財探索

☆ふれあいバス“北コース”利用〔平成20年9月27日(土)実施〕

○行き	ふれあいターミナル	13:20 ^{バス} ⇒ 13:45	宮ノ下
◎探索	子ノ神社（文違）	13:57 ~ 14:02	
（徒歩）	こえっばの弁天（文違）	14:04	
	陣場（文違）	14:10	
	七十二町歩開墾成功碑（文違）	14:45 ~ 14:52	
	立看板「陸軍飛行場跡」（一区）	15:02 ~ 15:04	
	軽便鉄道跡（一区）	15:12 ~ 15:15	
	孀恋稻荷神社（一区）	15:20 ~ 15:25	
	立看板「旧成田街道」（文違）	15:49 ~ 15:52	
○帰り	宮ノ下	16:24 ^{バス} ⇒ 16:49	ふれあいターミナル



七十二町歩開墾成功碑



孀恋稲荷神社(一区)



立看板「陸軍飛行場跡」

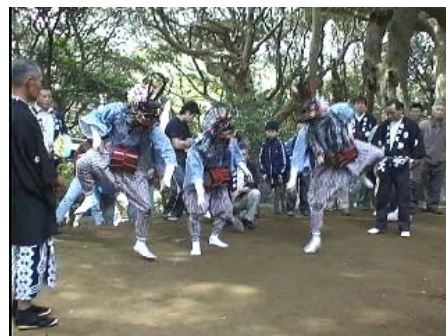
文化財情報コーナー

榎戸獅子舞保存会と文違麦つき踊り保存会が表彰される!!

平成21年2月21日(土)、市中央公民館で開催された八街市生涯学習推進大会において、榎戸獅子舞保存会と文違麦つき踊り保存会が八街市社会教育委員会議から表彰されました。この表彰は、長年にわたる地域文化の伝承活動が評価されたもので、両団体は、これまで、市指定無形民俗文化財の保持団体としてその保存・継承活動に励んできました。

榎戸獅子舞保存会の功績の概要

市指定無形民俗文化財であり、380年ほど前から営々と受け継がれてきた「榎戸獅子舞」を保存・継承するために設立された団体である。毎年10月に八街北小学校5年生の授業の中で榎戸獅子舞の指導を行い、子どもたちへの伝承に努めている。また、長年途絶えていた奉納舞を復活させるなど、文化財の伝承を通して本市の文化財保護及び社会教育の振興に尽力されているその功績は誠に大である。



榎戸獅子舞は、寛永年間(1624～1644年：江戸時代のはじめ頃)から榎戸地区に伝わる伝統ある獅子舞で、当時、佐倉城主であった土井利勝が榎戸新田村の開墾とともに村民に娯楽を与えようと佐倉地方から導入したと伝えられるものです。

文違麦つき踊り保存会の功績の概要

市指定無形民俗文化財である「文違麦つき踊り」を保存・継承するため、昭和54年に設立された団体である。設立以来、毎年、市民体育祭をはじめ、地元の夏祭りや子ども神輿に出演・参加するなど、その公開に力を入れると共に、市中央公民館が主催する生きがい短期大学においても講義を行う等、「麦つき踊り」の普及・活用にも努めている。また、定期的な活動を通じて、後継者の育成にも取り組むなど、本市の文化財保護及び社会教育の振興に尽力されているその功績は誠に大である。



文違麦つき踊りは、明治時代半ば頃から文違地区で祖先の供養と娯楽を兼ねて、毎年盆休みに、唄い踊り続けているものです。

明治の初め頃、開墾で入植した人々の主食は麦でした。重い杵を振りかざし、一年分の麦を精白する作業は当時の農民にとって苦しい作業の一つであり、この苦労の中から麦つき唄と麦つき踊りが生まれたといわれています。

文違麦つき踊り保存会設立30周年記念式典

平成20年11月17日(月)、文違コミュニティセンターにおいて、文違麦つき踊り保存会設立30周年記念式典が挙行されました。当日は、保存会会員のほか大勢の来賓が招待され、各方面からお祝いのご挨拶が寄せられました。式典の最後には、出席者全員が「麦つき踊り」を輪になって踊るなど、終始和やかな雰囲気の中、盛大な式典となりました。

また、本年12月5日(土)には、香取市佐原文化会館で開催される「房総の郷土芸能2009」に出演する予定です。

『八街の文化財—やちまた歴史散歩—』刊行

八街市教育委員会では、市内の指定文化財をはじめ、市の歴史、社寺、伝統芸能、伝承、文化財めぐりコースなどを豊富な写真や地図とともに掲載した冊子『八街の文化財—やちまた歴史散歩—』を2,000部限定で刊行しました。現在、社会教育課と郷土資料館で販売していますので、興味のある方は、残部がなくなる前にお早めに買い求めください。

『八街の文化財—やちまた歴史散歩—』

◎発行 八街市教育委員会（平成21年3月17日）

◎体裁 A4判、全16頁、オールカラー

◎価格 100円

◎販売 八街市教育委員会社会教育課（市役所内）・八街市郷土資料館

※掲載内容

- 八街市の概要
- 八街の歴史
- 八街市の指定文化財
- 八街市文化財まっぷ
- ふれあいバスでいく文化財探訪
 - ・昔話をめぐるみち 【北コース】
 - ・馬とともに歩んだみち 【南コース】
 - ・ふるさと発見のみち 【中コース】
 - ・御成街道散歩 【西コース】
 - ・開拓の道しるべ 【東コース】
- 八街の歳時記
- 八街市郷土資料館



この通信紙に対するご意見・ご要望、または、文化財保護やボランティア活動に関するご意見・ご要望などがありましたら、社会教育課文化財班へどしどしお寄せください。可能な限りこの通信紙に掲載して、皆さんへお届けしたいと考えています。☐

やちまた文化財ボランティア通信 第3号

発行日 平成21年9月16日

編集・発行 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35番地29

八街市教育委員会 社会教育課 文化財班

Tel : 043-443-1464 Fax : 043-443-1448

e-mail : shakyo@city.yachimata.lg.jp